

カイロプラクティックの歴史

- 1895年 米国アイオワ州ダベンポートでDDパーマーによりカイロプラクティックが創始される
- 1897年 最初のカイロプラクティック教育機関、パーマースクール開校
- 1907年 森久保重太郎、日本人初のカイロプラクティックとなるが米国で生涯を過ごす
- 1915年 ノースダコタ州で全米初の法制化（全米最後の法制化は1974年のルイジアナ州）
- 1916年 河口三郎、帰国してカイロプラクティックを日本に始めて紹介する
- 1918年 神奈川県でカイロプラクティック取り締まり規制が制定
- 1923年 アルバータ州でカナダ初カイロプラクティック法制化
- 1933年 FCLBの元となるカイロプラクティック州免許委員会が設立
- 1939年 スイス・チューリッヒ地方で、北アメリカ以外で初の法制化
- 1944年 奨学金や研究に関わるFCERの設立
- 1947年 カイロプラクティックの制度化を求め、全国療術師協会が設立
- 1960年 最高裁判決により法的資格制度以外の医業類似行為が自由となる
- 1961年 国内の団体が集結し、日本カイロプラクティック総連盟（JCA）が設立
- 1963年 州試験の統一性を図るためNBCE（ナショナルボード）設立
- 1969年 戦後初の日本人カイロプラクティック、竹谷内一願が帰国する
- 1974年 米CCEが政府に認可されカナダ、ヨーロッパ、太平洋州に広がる
- 1979年 ニュージーランド政府がカイロの有効性を認める報告書作成
- 1983年 臨床カイロプラクティック学会（RCG）設立
- 1987年 ウィルク裁判で米国医師会が敗訴、カイロプラクティックの勝利
- 1988年 80ヶ国以上が加盟するWFC（世界カイロプラクティック連合）設立
- 1995年 カイロ生誕100周年記念が全米各地で開催される
- 1995年 日本初の国際基準教育機関、RMIT大学カイロプラクティック学科日本校開校
- 1997年 WHO（世界保健機関）のNGOにWFCが正式加盟
- 1999年 JAC（日本カイロプラクティクス協会）がWFC日本代表団体として加盟
- 2005年 RMIT大学日本校、日本およびアジア地域初のCCE認可校となる
- 2005年 WHOによるカイロプラクティック・ガイドライン完成
- 2006年 WHOガイドラインの日本語版完成
- 2006年 日本で二番目の国際基準教育機関、マードック大学インターナショナル開校（2010年閉校）
- 2008年 WHO 伝統医療学会ヘルスケアの手技療法シンポジウム北京で開催。
日本カイロプラクティック登録機構設立。
- 2009年 RMIT大学日本校が東京カレッジ・オブ・カイロプラクティックへ名称変更
- 2011年 日本初のカイロプラクティック統一試験（JCR登録試験）がJCRとIBCEにより開催
- 2012年 東京カレッジ・オブ・カイロプラクティックがCCEAより認可を取得する
- 2013年 国民生活センターからの依頼によるカイロプラクティックの安全性と広告に関するガイドライン完成
- 2014年 国内で初めて日本カイロプラクティック登録機構からカイロプラクティック名簿が厚生労働省へ提出
- 2016年 河口三郎によるカイロプラクティック伝来100周年を祝う